

子ども音楽新聞 第13刊

2009年
8月～

オーケストラ大特集



©Stofleth



©Stoflet



©Stoflet



©Marc Ginotth



©Stoflet

■もりお博士の音楽講座 Vol.1

～博士に教わる演奏会のミニ知識～

その1. 演奏会へ行く前に

その2. いざ、演奏会へ！

その3. いよいよ！演奏会の開演だ

～実際にコンサートへ行ってみよう～

Dream Seats 次回締切公演の聴きどころ

N5…NHK交響楽団

T5…東京フィルハーモニー交響楽団

S5…新日本フィルハーモニー交響楽団

K4…東京交響楽団

音楽博士でプロのフルート奏者、北川森央さんにクラシック音楽の魅力をたっぷり語ってもらおう！

もいお博士の音楽講座

Vol.1

みなさん、こんにちは！

暑い日が続きますね。元気にしているかな？宿題は進んでいるかな？
夏休みの間、各地で家族づれや、小学生のお友達を対象にした
オーケストラの名曲コンサートがたくさんあります。

お父さんお母さんにぜひ、「連れてって～！」とお願いしてみようよ。

有名な楽しい曲を集めて、チケットの価格も抑えられています。

実は、わたしが、生まれて初めて、生で聴いたオーケストラ演奏会は
「夏休み家族コンサート」という名前でした。

曲目は「ベートーヴェンの運命、シューベルトの未完成、
ドヴォルジャークの新世界」という、いわゆる三大交響曲。

会場はサントリーホールでした。赤いじゅうたんやまばゆい照明に
ドキドキして、自分が少し大人になったんだ！って実感した
瞬間でした。うれしかったなあ。



もいお博士
横浜生まれ。

幼少時からクラシック
音楽に親しんで育つ。

11歳よりフルートを始める。

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。

同大学院修士課程及び博士後期課程修了。

2008年3月、博士号（音楽）取得。

音楽講座は全3回を予定！！

博士に教わる演奏会のミニ知識

その1. 演奏会へ行く前に

その2. いざ、演奏会へ！

その3. いよいよ！演奏会の開演だ



ここからは、
ちょっと知っておくだけで、
楽しみ方が広がる
ミニ知識を
博士が伝授します



その1. 演奏会へ行く前に



おしゃれも楽しみの1つ

演奏会っていうのは生の音楽を聴きに行くこと。でも、それだけではないんだ。

普段の日常生活の、忙しさや騒がしさから離れて、ちょっと素敵な別の世界でゆったり
時間を過ごすことができる特別な出来事…コンサートホールはきれいで、重厚な雰囲気。

そして演奏する人達はドレスとか燕尾服とか、普段では着ることが無い正式な服を着て
心を込めて演奏する。ホールの人達も、みんなの過ごす時間が特別で素敵な時間にな

るように願っています。みんなが心を合わせて、演奏会が特別な、素敵な、

おしゃれな、でもリラックスした楽しい時間になるように協力しているんだ。

みんなも、ちょっとおしゃれして、演奏会に出かけてみると、きっと新しい魅力に出会えると思うんだ。

もちろん、普段着でも全然大丈夫！大切なのは、この時間の全てを楽しもう、という気持ちだよ。



©Grand Foyer



演奏会の前にできること

できたら、その日演奏会でやる曲を何回か聴いてから生演奏を聴けたら言うこと無しだね！
知らないものを初めて聴く楽しさもあるけれど、知っているものを頭でなぞりながら聴くのはもっと楽しいよ。クラシック音楽では、おなじ曲でも演奏する人によって、少しずつ違う演奏になるんだ。
それを自分の知っているスタイルと比べて楽しむ、という聴き方もあるよ。



その2. いざ、演奏会へ



早めに会場に行くべし！



開演前の舞台上

開演ギリギリにドタバタ駆け込んで、心臓ドキドキ、汗ダラダラしながら演奏会が始まるなんて、ちょっともったいないぞ。余裕を持って、落ち着いた気持ちで開演を迎えたいね。大きなホールで行われる演奏会の場合、開演前のホール入り口では、これからあちこちで行われる演奏会を紹介するチラシを何十枚もドサッともらえます。日本のオーケストラや海外から来日するオーケストラ、オペラ、歌、ピアノ、その他の器楽・・・キレイなチラシを眺めていると「これ聴いてみたい！」「あ、大好きな曲だ！」など、夢がどんどん膨らむね。

演奏会の始まる前の舞台では色々な作業がおこなわれているよ。

オーケストラの人が、今日の演奏会の難しいところや、聴きどころ（指の速いところや、一人で演奏する『ソロ』のところ）の直前のおさらいをしていたり、楽器の調子を調べたり、あと裏方さんと呼ばれる演奏会を裏から支える人達が舞台上の椅子や譜面台がきちんと並んでいるかチェックをしたりしています。
それを眺めていると、これからどんな曲が演奏されるのか予想できたりして、期待が膨らむよ。



ホールへ到着

入口でチラシをGETしよう



クローク

大きい荷物があるときは
ここへ預けよう



もうすぐ開演

携帯の電源は切ったかな？
もう一度チェック

第6刊「ゆうくんが行く！」コーナーより

これだけ注意！



携帯電話を持っている人はみんなのなかでは少ないかもしれないけれど、もし持っていたら、絶対に演奏会中は電源をきること！静かなところでもしも鳴りだしちゃったらたいへん！！とにかく音がでるものは、時計も電話も財布の鈴もタマゴッチも、全部切ること。
演奏の間は、リラックスして静かに。どうしても話したい時や、咳は、楽章の間の短いおやすみの間ならしても大丈夫。あと、大きい荷物がある時は、ロビーにある「クローク」っていうところに預けることができるよ。



その3. いよいよ！演奏会の開演だ



チューニングのヒミツ！



オーケストラでは何十人もの演奏者が同時に音を出して、同じハーモニーを美しく奏でないといけない。でも、それぞれの楽器のちょっとした調整の違いによって音程は変わってしまうんだ。例えば同じ「ラ」の音でも、音の高さには幅があって、オーケストラの中で、ちょっとでも高いラと低いラが同時に鳴ると決して美しいハーモニーにはならない。だからオーケストラのメンバーが舞台の上にそろって、まず「チューニング」（調整）ということをやって、みんなが同じ音程で演奏できるようにするんだよ。オーケストラのリーダー「コンサートマスター」が立ち上がって合図を出すと、オーボエがその日のオーケストラの基準となるラの音を延ばして吹く。コンサートマスターが、オーボエのラと自分のラを合わせると、その後、その音をみんなで聴きながらラを揃えて演奏する。問題があれば楽器を調整し、オーケストラ全体の音程の確認をするんだ。弦楽器の人は、次に、基準のラをもとに、楽器に4～5本張ってある弦一本一本の調整もするよ。全員のチューニングが終わると、また静かになって、指揮者の登場を待つんだ。いま、だいたいの日本のオーケストラはラ（A）＝442ヘルツという物理的な単位の高さでやる人が多いみたいだよ。



どう聴く？どう感じる？

さて、時間が来て舞台の袖（面白い日本語だね）から指揮者が足音を響かせて現れ、拍手がおきる。演奏会の始まりだ！すごい指揮者だと、その瞬間に会場の空気が一瞬で変わるのわかるんだ。みんなは「カリスマ」って言葉を知っているかな？カリスマ性のある指揮者は、現れるだけで、期待、緊張、集中、興奮、これらが一緒になったような独特の雰囲気（どくどく）を、オーケストラと会場全体にもたらしことができるんだ。オーラというのかな。それを感じ取れたら、もう演奏会は成功でしょう。あとはもう、みんな好きに音楽に浸ればいいんだ。目をつぶって、会場全体の響きを聴いてもいいし、自分の好きな楽器や、奏者一人一人を追いかけて聴くのもいい。指揮者に目は釘付けでもいい（オペラグラスという小さな双眼鏡で奏者や指揮者のアップを見ることもできるよ）。大事なのは、集中して、リラックスすること。慣れてくると、自分なりの聴き方がきつとわかってくるはずだよ。



きゅうけい

休憩時間の過ごし方は？



どこの席が
いいかなー？



開演前と休憩中は、自由にホールの中を歩き回れる時間なんだ。ホールの中は、舞台の見え方や、音の聴こえ方が場所によって結構変わるんだ。休憩中にホールの中を散歩したり、何度か通う中、違う席で演奏を聴いたりするうちに、自分のお気に入りポイントが見つけれられると思うよ。

博士は、小さい頃、演奏会に行く度に違う場所の席を試しては、このホールならここ、あのホールのときはここ、ってお気に入りエリアを見つけていったんだ。あとはトイレに行ったり、おしゃべりしたり、売店があればアイスクリームやジュースを買ってもいいね！そうそう、会場の中は走っちゃダメだよ。



拍手・ブラヴォー作法って？



フライング厳禁

演奏が終わって、大興奮、本当に素晴らしい～、奏者の人にこの感動を伝えたい！そう思ったあなた。心からの拍手を惜しみなくおいてね。演奏してくれた人が目の前にいる！これはすごいこと。直接、「きれいだった」とか「ありがとう」を伝えることができるなんて、素敵なことだよ。それでも物足りない人は、勇気を出して「ブラヴォー！」と大きく叫んでみよう。これはイタリア語で「素晴らしい！！」という意味の呼びかけなんだ。女性に対しては「ブルーヴァ！」、複数の奏者には「ブルーヴィ！」と呼びかけるのが正式だけど、音楽の世界では全部「ブラヴォー！」で大丈夫。ただ、拍手もブラヴォーも、そのタイミングがちょっと大切なんだ。なぜかという・・・ホールには残響というものがあって、楽器が鳴り終わっても、ホールに響きが残っている。良いホールほど、その残響が美しいから、最後の音のあとその残響も楽しんで、それから拍手、ブラヴォー、という順番になるよ。そのタイミングが早すぎると、うっとり聴いている人をがっかりさせてしまうからね。オーケストラの演奏会では、特にその日、個人的に活躍した何人かの奏者を拍手の時に立たせて、労をねぎらうことがあるよ。素晴らしいな、と思った人には、ぜひ「ブラヴォー！」とさげんであげてね。



★★★★★ 1000人以上の仲間と共有する宝物の時間 ★★★★★



演奏会の素晴らしさは、すべてが「その場」で行われるってところだと思うんだ。今この瞬間を共有するすばらしさ。私は一人じゃない、君も一人じゃない、みんな一緒に今、この音を聴き、この音を生み出すことに関わっている。大きなホールだと、同時に1000人以上の人が、演奏して、聴いて、支えている。しかも演奏される曲は多くの場合、何百年も昔のもの。作曲家が曲を書いて、それが人々に愛されて、今日までずっと何千回もしかしたら何万回と演奏されて来たと思う。そういう一回一回の積み重ねの最後に今日の演奏会が連なっている、と考えるのは素敵なことだと思うんだ。

★もりお博士に教えてもらったこと、みんな、ぜひ実践してみてね！！★



博士に聞いてみたいこと、大募集



家でCDを聞いて…コンサート会場へ行って…楽器のことや楽譜のことなど
みんなが疑問に思ったこと、知りたいこと、もりお博士へ聞いてみよう！

もりお博士への質問を大募集！！質問の答えは第14刊で発表するよ（掲載内容は、抽選となる場合がございます）

申込方法

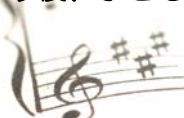
① お名前・年齢 ② 博士への質問 ③ 子ども音楽新聞についての感想



④ アンケート：子ども音楽新聞はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.smf.or.jp/kodomo/>

今後、子ども音楽新聞はホームページ上での閲覧のみでもよろしいですか？（YesかNoをご記入下さい）

①～④を記入の上、



ファックス：03-3261-9898 / メール：smf@sonymusic.co.jp



（メールでは題名に「子ども音楽新聞・博士へ質問」と明記のこと）までお送り下さい。9/6（日）締切

実際にコンサートへ行ってみよう



次回締切公演の

き
聴きどころ

Dream Seats 次回締切公演

N5...NHK交響楽団

T5...東京フィルハーモニー交響楽団

S5...新日本フィルハーモニー交響楽団

K4...東京交響楽団

★博士の聴き所解説を要チェック★



Dream Seats
8月24日(月)
締切



©S. Takehara

N5公演 NHK交響楽団

2009年9月20日(日)3:00PM NHKホール

★指揮:クリストファー・ホグウッド ☆ヴァイオリン:ダニエル・ホープ

◆メンデルスゾーン/序曲「フィンガルの洞窟」作品26(ローマ版)

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64(初稿)

交響曲 第3番 イ短調 作品56「スコットランド」

がくしゃ
学者として?芸術家として?ホグウッドN響と初顔合わせ!
はつかおあ

音楽の世界には、演奏する立場の人達の他に、音楽を、学問の立場から研究する「音楽学者」というプロフェッショナルがいます。作曲家の生涯や、ある作品を細かく研究して、分析して、それがより良く演奏できる手助けをする人達です。ホグウッドという指揮者はその、技術と、情熱と、頭の良さを全て兼ね備えた珍しい(うらやましい)人なのです。日本を代表するオーケストラ「N響」との初共演で、メンデルスゾーンの代表作を取り上げます。「スコットランド」交響曲の雄大さ、幸せなのに胸が締め付けられる寂しい感じ。まさに青春って感じかな。



T5公演 東京フィルハーモニー交響楽団

2009年9月20日(日)2:00PM 東京オペラシティコンサートホール

★指揮:コンスタンティン・キツォプロス ☆ナビゲーター:ジョン・カピラ

☆プロデューサー:ジョン・ゴバーマン ☆技術監督:ジョン・シャープ

オーケストラ名作シネマ館〜ロジャース&ハマースタイン アット・ザ・ムービーズ〜

作曲:リチャード・ロジャース/作詞:オスカー・ハマースタイン二世

◆『回転木馬』より ◆『王様と私』より“Shall We Dance?” 他

なんという贅沢!オリジナルの映画のシーンを見ながら、耳では生オーケストラを聴く

東京フィルといえば、オペラやバレエのプロフェッショナルとして知られています。

そういうオーケストラの映画音楽ですから、まさにぴったりの組み合わせと言えるでしょう。

古き良き時代のアメリカ映画の画面を会場で流し、それに合わせて大オーケストラがそのテーマ曲を演奏する。こんなすごいアイデアをよく考えたものです。豪華ですね。

DreamSeatsとは

もっと、たくさん、コンサートに行きたい！

でも、いつ、どこで、どんなコンサートをやっているんだろう???

そんな、子どもたちの声にお応えするのが、**Dream Seats**(ドリームシート)です！

『Dream Seats』は、小学生・中学生・高校生を対象に、
Sony Music Foundation が厳選したコンサートのチケットを特別な価格でご提供するものです。

今すぐメンバーズ登録(無料)をしてお得なチケットをGETしよう！！

ホームページからメンバーズ登録が出来ます。(http://www.smf.or.jp/dream/)

下記、通常公演では、S 席相当のコンサート・チケットを、お一人様 2000 円で販売いたします。

各公演10名様限定！(応募者多数の場合は、抽選)。小・中学生の同伴者の方も、同価格でお申込みいただけます。

現在は「**NHK交響楽団**」「**東京フィルハーモニー交響楽団**」「**新日本フィルハーモニー交響楽団**」「**東京交響楽団**」の
4オーケストラが、対象となっています。

S5公演 新日本フィルハーモニー交響楽団

2009年9月23日(祝・水)2:00PM サントリーホール

★指揮:クリスティアン・アルミンク ☆ピアノ:クン=ウー・パイク

◆シュニツケ/モーツ・アルト・ア・ラ・ハイドン (1977)

◆シマノフスキ/交響曲第4番『協奏交響曲』作品60

◆シューベルト/交響曲第8番ハ長調『グレート』作品944



「天国のように長い」交響曲を黄金コンビで！

いま、もっとも注目を浴びている黄金コンビが、イケメン常任指揮者のクリスティアン・アルミンク指揮する新日本フィルハーモニーです。お気に入りの指揮者とオーケストラの組み合わせを見つけて、集中的に聴く。これはかなり「通」の聴き方といえるでしょう。そんな聴き方に一番お勧めなのが、この組み合わせです。アルミンクの颯爽として洗練された音楽と、日本のオーケストラの中でももっともヨーロッパ的音を持つ新日本フィル。この黄金コンビで、シューベルトの最後に作曲した交響曲「グレート」を聴きます。作曲家のシューマンは、大曲であるこの曲に感激して「天国のように長い」とコメントしました。名演の予感です！



K4公演 東京交響楽団

2009年9月26日(土)6:00PM サントリーホール

★指揮:秋山和慶^{あきやまかずよし} ☆ピアノ:小山実稚恵^{こやまみちえ}

◆シューマン/ピアノ協奏曲 イ短調 作品54

◆ラフマニノフ/交響曲 第2番 ホ短調 作品27



第3楽章で泣け！思いっきり！

ラフマニノフ交響曲第2番。この曲は特に第3楽章によって有名になりました。

これ以上美しい曲は想像できないくらいの甘美なメロディーで、ファンの多い曲です。メロメロ？トロトロ？
一歩間違えると演歌になってしまいそうなくらいの泣けるメロディーですが、端正で品格ある指揮で定評のある秋山和慶がどうまとめるのか、聴きどころです。ピアノ協奏曲の王道、とも言うべきシューマンのピアノ協奏曲を日本を代表するピアニスト、小山実稚恵が演奏するのも楽しみです。

第14刊 予告

■もりお博士の音楽講座 Vol. 2～どう聞く？このコンサート!!～

特集① 子どもたちに贈るスペシャル・コンサート

『大野和士×フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団』

特集② まもなく季節到来！「ベートーヴェン “第九”」

■博士に質問～回答編～

みんなから寄せられた質問に、博士が答えます！

子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズ

大野和士（指揮とおはなし）フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団

2009年11月2日（月） 1：00PM 開演

Bunkamuraオーチャードホール

♪ドビュッシー：「牧神の午後への前奏曲」

♪ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」（1911年版）

■料金（税込・指定）

小学生・中学生 S席：2,500円/A席：1,500円

高校生 S席：3,000円/A席：2,000円

小学生・中学生の同伴者（保護者）S席：4,000円/A席：3,000円

■プレイガイド

Sony Music Foundation 03-3261-9933（月～金/10:00-18:00）

Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999

ぴあ <http://www.pia.co.jp/>（Pコード：325-478）

e+（イープラス） <http://eplus.jp/>

■注意事項（必ずお読み下さい）

- ・この公演は小学生・中学生・高校生が対象となります。
- ・できるだけ多くのお子様にご入場いただくため、
大学生以上の一般の方のみの入場はお断りさせていただきます。
あらかじめご了承ください。
- ・小学生・中学生の同伴者（保護者）は、チケットの購入が可能です。
- ・同伴者（保護者）のご購入は、お子様一人につき上限4枚までとします。
- ・高校生の同伴者（保護者）はチケットの購入ができません。
- ・未就学のお子様の入場はお断りさせていただきます。

ここでも、
オーケストラを
聴くチャンス！！
第14刊ではこの
公演の楽しみ方を
もりお博士が
教えてくれるよ

子どもたちに贈る

スペシャル・コンサートシリーズ

小学生・中学生・高校生を中心にお届けする
スペシャル・コンサート・シリーズは、「世界で
活躍するアーティストが創造する芸術をリアルに体
験し、その感動を全身で受け止めてもらいたい」
との願いを込めて2004年よりスタートしました。
演奏は、子ども向けにアレンジすることなく大人が
聴くプログラムを演奏、内容によっては途中で
分かりやすい解説をつけながら
お届けしています。

主催：Sony Music Foundation 共催：Bunkamura 協力：KAJIMOTO

発行：財団法人ソニー音楽芸術振興会(Sony Music Foundation)

〒102-0076 東京都千代田区五番町5-1 JS 市ヶ谷ビル7F

TEL:03-3261-9933 FAX:03-3261-9898 Email: smf@sonymusic.co.jp URL: www.smf.or.jp

発行人：岡 路子／編集：川崎 映子・千田 真実・北川 森央